

自殺対策うつ病分科会 IN 神戸プログラム (案)

—うつ病と向き合う姿勢について考える—

◆ 目的

日本は12年連続で自殺者数が3万人を超え、一向に減少する傾向にないのが現状である。様々な社会的要因が存在することが判明してきたが、そもそも同要因を取り除けば自殺が防げるという単純な問題でもない。改めて原点に戻り当事者本位の支援を考えるときうつ病治療は避けて通れない問題である。そこで、「うつ病と向き合う姿勢について考える」をテーマにうつ病と今後も向き合っていくための基礎知識・認知行動療法について・うつ病治療薬の基礎知識など3つの分科会を開催し、広く一般市民や地域の行政担当者・民間支援団体・精神科医・法曹界との間で相互に研修し、学ぶことを目的とする。

◆ 概要

- ・ 開催日時：平成22(2010)年10月24日(日)
14:00(受付)開催時間14:10~19:30
- ・ 開催場所：神戸ポートピアホテル 神戸市中央区港島中町6-10-1
- ・ 全体会場：同ホテル 布引・北野 分科会会場：同ホテル 生田・菊水
- ・ 参加者数：約200名
- ・ 参加費：無料
- ・ 参加対象者：一般市民・行政担当者、民間団体、医師、法曹関係者等
- ・ 主催：NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス
- ・ 後援：厚生労働省(予定)、内閣府、兵庫県、神戸市、兵庫県司法書士会(予定)

◆ プログラム

- ・ 基調講演 —自殺対策に今必要なこと—
- ・ 相談現場からの報告 —当事者から学びたい—
- ・ 第1分科会 「うつ病と向き合うための基礎知識を学ぶ」(会場：布引・北野)
- ・ 第2分科会 「認知療法の重要性について」(会場：生田)
- ・ 第3分科会 「うつ病治療薬の基礎知識について」(会場：菊水)

【開催あいさつ】(14:10~14:30)

ビデオレター 厚生労働大臣 長妻 昭氏(予定)
NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス 理事長 弘中 照美

【第1部】基調講演(14:30~15:10)

「自殺対策に今必要なこと」秋田大学大学院医学系研究科長・秋田大学医学部長 本橋 豊先生
当事者からの報告(15:10~15:30)

「精神疾患と向き合うために」 当事者

自死遺族からの報告(15:30~15:50)

「自死遺族の声なき声」 自死遺族

休憩・移動(15:50~16:00)

【第2部】ワークショップ(16:00~17:40)

第1分科会「うつ病と向き合うための基礎知識を学ぶ」

講師 医療法人カメラ大村共立病院 副院長 宮田 雄吾先生

第2分科会「認知療法の重要性について」

講師 慶応義塾大学 保健管理センター 教授 大野 裕先生

第3分科会「うつ病治療薬の基礎知識について」

講師 杏林大学保健学部健康福祉学科精神保健学・社会福祉学教室 教授 田島 治先生

休憩(17:40~17:50)

【生きていくことの大事さ】(17:50~18:10)

当事者

【全体会】(18:10~19:10)

分科会報告(パネルディスカッション)自殺防止のための精神科医療を考える

パネラー：宮田雄吾先生・大野裕先生・田島治先生

コーディネーター：本橋豊先生

【私達ができること】(19:10~19:30)

NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス 理事長 弘中 照美